NEC \Orchestrating a brighter world

2026 年 11 月 10 日

各 位

住　　所　東京都港区港南二丁目 15 番 3 号
会 社 名　ＮＥＣキャピタルソリューション株式会社
代表者の役職氏名　代表取締役社長　平野　昇一
（コード番号：8793 東証プライム市場）
問合わせ先　コミュニケーション部長　是枝　孝彰
電話番号　０３－６７２０－８４００（代表）

サステナビリティ経営支援融資による資金調達実施について

当社は、株式会社三井住友銀行（本店：東京都千代田区、頭取 CEO：福留 朗裕）による「サステナビリティ経営支援融資(※1)」において高い評価を得て、同評価に基づく資金調達契約を締結しましたのでお知らせします。

１． 本件取り組みの背景と目的

機関投資家を中心に、企業の財務情報には現れない ESG(※2)側面に関する非財務情報や SDGs(持続可能な開発目標)(※3)達成への貢献に対する関心はますます高まっています。

当社グループは、グループビジョン「次世代循環型社会をリードする Solution Company」を掲げ、資源の循環利用と新たな付加価値の創出を続ける「次世代循環型社会」の実現に向け、環境と企業の好循環に繋がるサービスを提供することで CSV(※4)経営の実践を推進しています。その一環としてサステナビリティ経営支援融資の実施により、資金調達の観点においても ESG 側面での取り組み及び情報開示の向上を図っています。

２． 当社の評価

「環境マネジメント」、「顧客に対する誠実さ」、「ステークホルダーとのコミュニケーション」において非常に高い水準であると評価されました。企業経営において大変優れた ESG 側面の取組と情報開示を実施しており、また、事業を通じた SDGs 達成への貢

献意欲が高いと評価を受けました。

ESG 側面の取組、情報開示では、以下の点等が評価されました。

① カーボンニュートラル実現を経営目標として位置づけ、「中期計画 2028」において Scope1,2 の CO2 排出量削減に向けた数値目標を設定。また、海外子会社を含む連結ベースに対象を拡大した上、カーボンニュートラル実現を 2040 年度から 2030 年度に前倒し。さらに再エネ発電容量の拡大や ICT 機器のライフサイクルに対するワンストップ支援、リース満了品・中古資産の活用につながる数値目標を設定し、事業活動に伴う環境負荷低減の取り組みを推進している点

② 「お客様本位の業務運営に関する取組方針」を策定の上、全文を HP において開示。また、お客様の声を事業に反映する仕組みとして、各部門においてカイゼン活動（全ての業務がお客様につながることを意識し、日々の業務課題や部門横断的な課題を抽出し解決する従業員参加型の継続的な業務改善活動）を推進。さらに事業継続計画の実行指針を策定し、災害等の緊急時にも事業が継続できるよう人事制度や働き方の見直しをしている点

お客様本位の業務運営に関する取組方針｜NEC キャピタルソリューション株式会社

③ ホームページのサステナビリティサイトや統合レポートなどの媒体を適切に使い分け、サステナビリティに関する情報発信を積極的に実施。株主・投資家との対話に加え、従業員向けの決算説明会・対話会のほか、NPO 法人や地域事業者・協議会との双方向のコミュニケーションの機会を継続的に設け、従業員自身の社会感度の向上につながる取り組みを推進している点

加えて、事業を通じて、SDGs が示す「目標 7: エネルギーをみんなに そしてクリーンに」「目標 11: 住み続けられるまちづくりを」「目標 13: 気候変動に具体的な対策を」等の達成に向けた意欲が評価されました。

当社は引き続き、事業活動そのものが社会価値を創造すると同時に、企業として求めるべき経済価値を創出し、社会と企業双方に共通の価値を生み出す CSV 経営を実践し、次世代循環型社会の実現に取り組んでまいります。

以上

＜ご参考＞

（※1）サステナビリティ経営支援融資

株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：内川　淳）が作成した独自の評価基準に基づき企業の ESG 側面の取組や情報開示、SDGs（持続可能な開発目標）達成への貢献を評価し、取組や情報開示の適切さについての現状分析、今後の課題、課題への取組事例などを還元する融資商品です。

（※2）ESG

ESG とは環境（Environmental）、社会（Social）、企業統治（Corporate Governance）の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

（※3）SDGs（持続可能な開発目標）

Sustainable Development Goals の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を 2030 年までに目指す 17 の目標と 169 のターゲットのことです。

（※4）CSV

Creating Shared Value の頭文字を取ったもので、「共通価値の創造」を意味し、経済利益活動と社会価値の創出（＝社会課題の解決）を両立させることです。